

相良村復興計画策定に伴う 住宅被災者向け意向調査集計結果について

■ 調査目的

令和2年7月豪雨災害により住宅が被災した世帯の生活再建に係る考えや今後の復旧・復興への意見等を把握し、相良村復興計画の基礎資料とするため実施

■ 調査対象

令和2年7月豪雨災害により住宅が被災した世帯（り災判定：全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊）

■ 調査方法

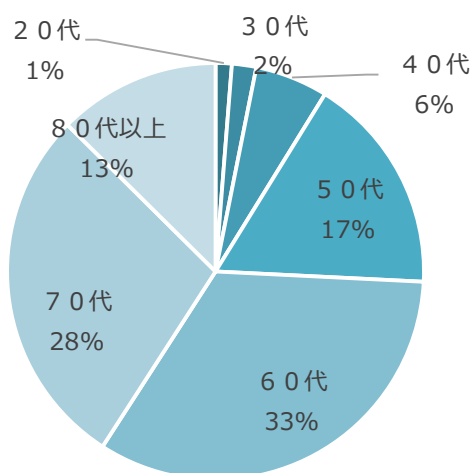
郵送により配布及び回収（令和2年11月～12月）

■ 配布及び回収数

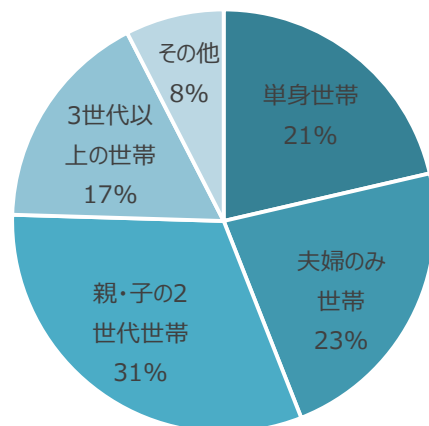
配布数	回収数	回収率
181	159	87.8%

■ 調査集計結果

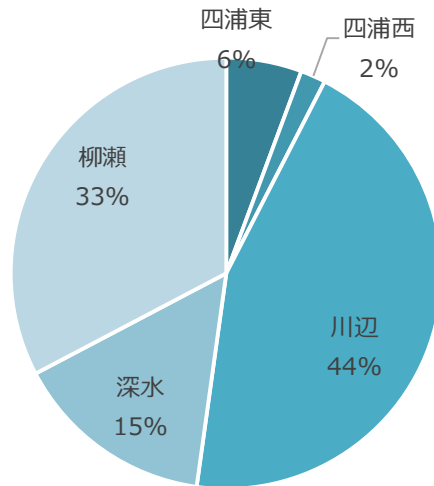
問1 あなたの年齢について



問2 あなたの世帯構成について



問3 豪雨災害当時のお住まいの地区について

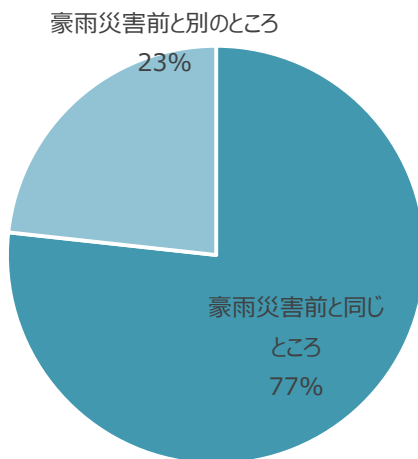


(参考資料：り災判定住家棟数一覧)

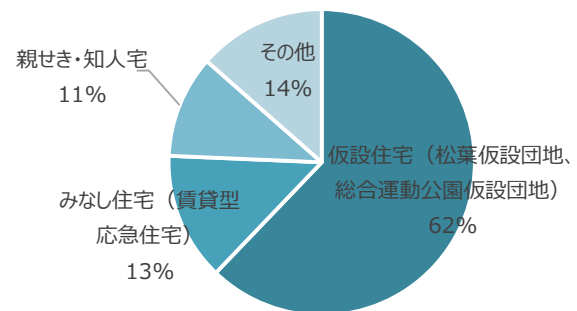
	四浦	川辺	深水	柳瀬	計
全壊	3	1	4	10	18
大規模半壊	0	2	7	13	22
半壊	3	36	10	19	68
一部損壊	5	43	4	22	74
計	11	82	25	64	182

※令和3年1月15日現在

問4 現在の住まいについて



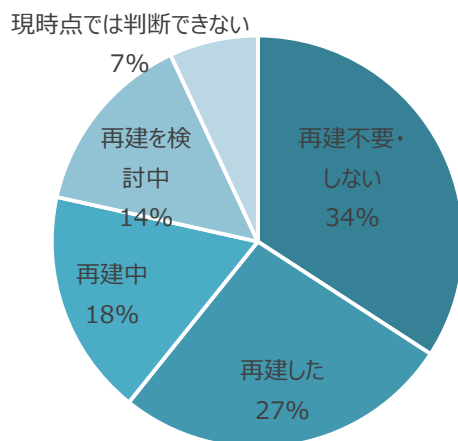
【豪雨災害と別のところ】の内訳



(仮設住宅建設状況)

松葉仮設団地	16戸	令和2年8月22日～入居
運動公園仮設団地	8戸	令和2年9月12日～入居

問5 現時点での住宅再建について



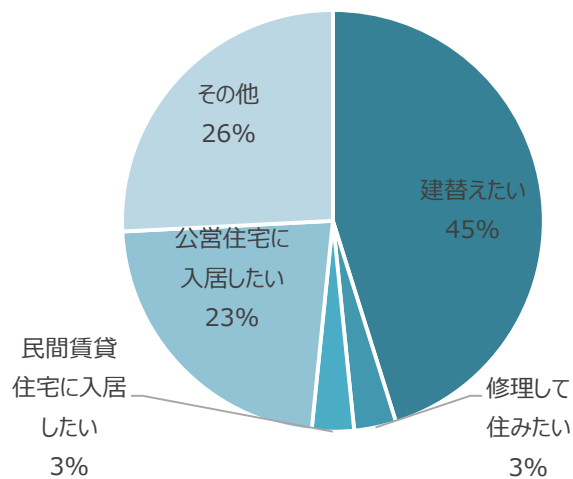
【再建した】の内訳

- ・被災した住宅を修理した 97.6% (41世帯)
- ・村内の中古住宅を購入した 2.4% (1世帯)

【再建中】の内訳

- ・被災した住宅を修理する 81.5% (22世帯)
- ・被災した住宅を取り壊し同じ所に建替える 18.5% (5世帯)

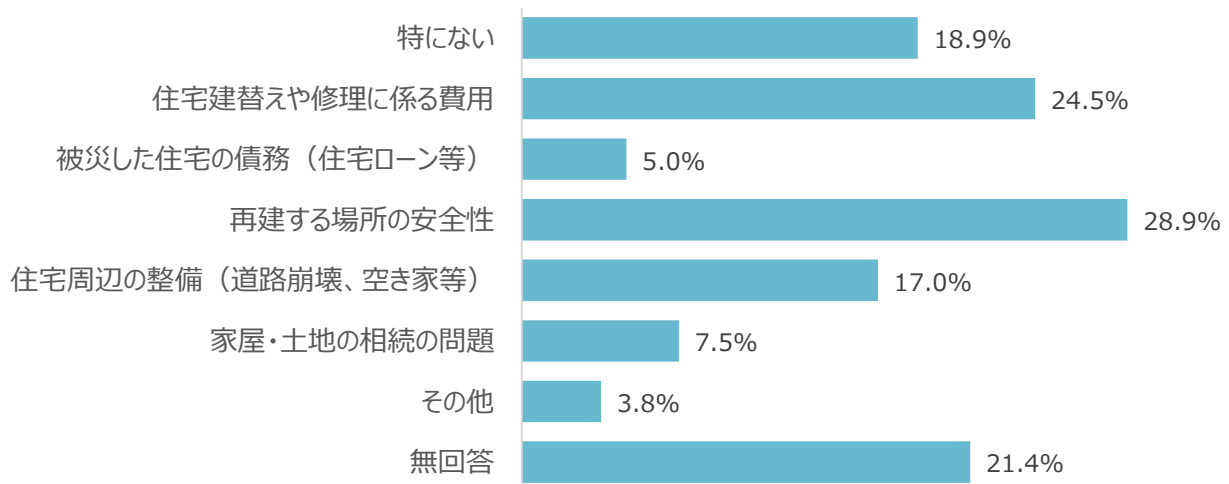
問6 これからの住まいについて（問5で「再建を検討中」を選択された方）



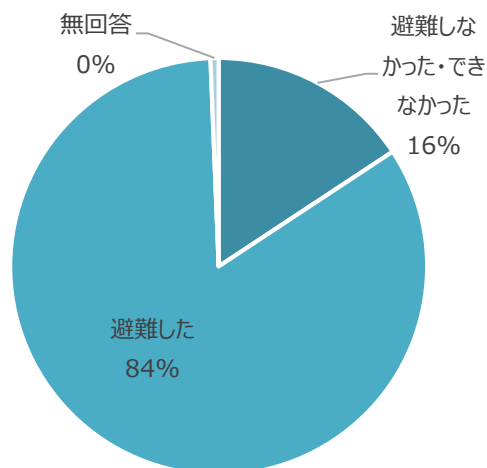
【建替えたい】の内訳

- ・元の場所 71.4%（10世帯）
 - ・別の場所 28.6%（4世帯）
- ※「別の場所」の内訳
- ・村内 3世帯（柳瀬地区）
 - ・村外 1世帯

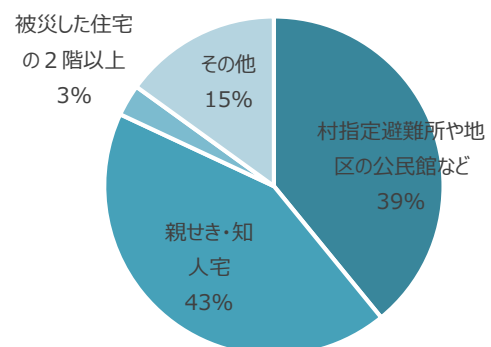
問7 住宅再建にあたり心配や困っていることについて（複数回答可）



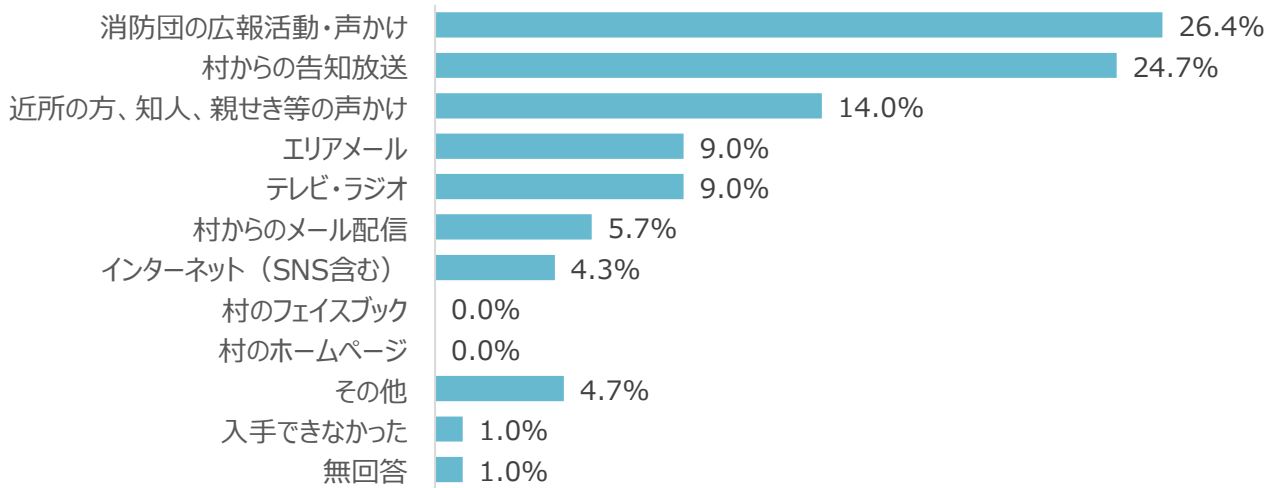
問8 豪雨災害時の避難状況について



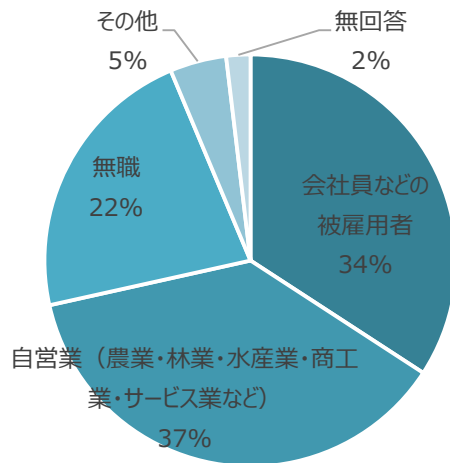
【避難した（避難先）】の内訳



問9 豪雨災害時の避難情報入手方法について（複数回答可）



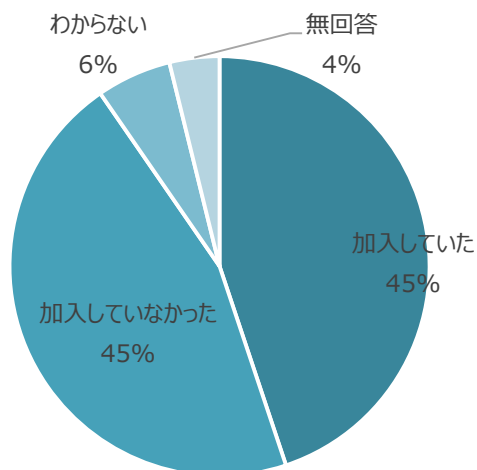
問10 あなたのお仕事について



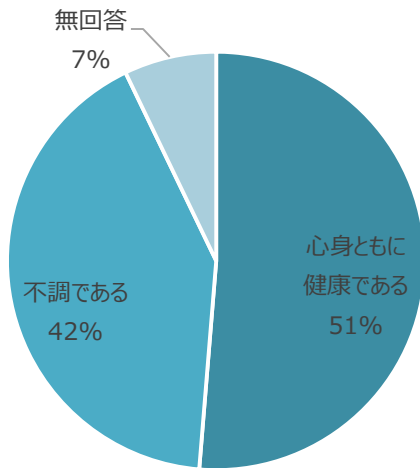
【自営業（被害状況）】の内訳

- ・被害があった 83.3%
- ・被害がなかった 8.3%
- ・無回答 8.3%

問11 被災した住宅は「水害保険」に加入していましたか



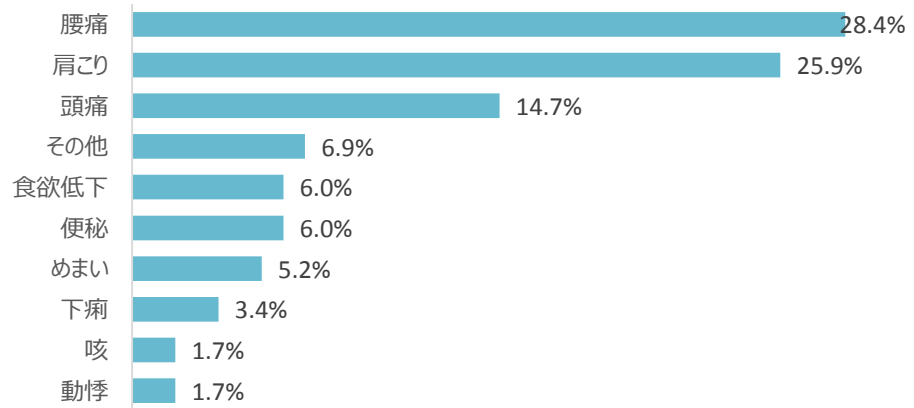
問12 現時点での健康状態（家族も含む）について



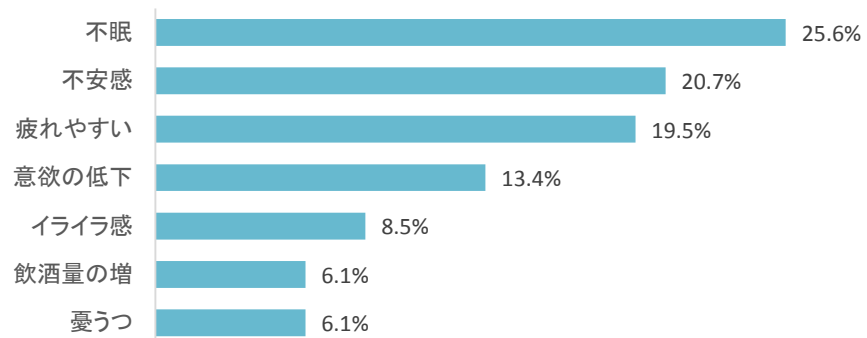
【不調である】の内訳

- ・身体的に不調 60.2%
- ・精神的に不調 39.8%

※症状について （身体的に不調）



（精神的に不調）



問13 生活再建・復旧及び復興を行っていくうえでの考え、思い、ご提案などをお聞かせください。

(1)	今後、安心安全に暮らしていくために必要なことはどのようなことだと思いますか。（生活再建・安全な居住地確保・地域コミュニティ等）
	○河川整備を早急に行ってほしい。 ・河床掘削（川底の堆積土砂の除去） ・堤防のかさ上げ、強化 ・堤防（道路）の補修及び整備 ・川幅を広げてほしい ・小川（小河川）の整備 ○安全な居住地の確保及び整備 ・安全な高台（浸水区域外）への移転促進、確保 ・宅地のかさ上げ支援 ・村営住宅の整備（仮設住宅の利活用含む） ・被災した場所での再建をする場合は、再度の災害を踏まえ十分考慮する ・被災された方の再建について、選択肢等を早急に提示すること ○避難所及び避難路の整備 ・指定避難所（総合体育館、林業総合センター）まで遠く避難が困難 ・指定避難所（総合体育館、林業総合センター）までの道路が冠水し避難できない ・指定避難所以外にも川辺地区と柳瀬地区の安全な場所に避難所を新たに整備してほしい ・避難路の確保（国道及び村道の浸水解消） ○防災・減災・地域コミュニティ再生に係るソフト対策 ・地元消防団の声掛け等の活動が人的被害ゼロにつながった ・消防団の部の再編及び機能強化 ・機能別消防団の機能及び活動を明確化する ・ハザードマップの見直し及び活用 ・地区の危険箇所や安全確認 ・地区ごとに誰が誰をどこに避難させるかなど具体的な内容を盛り込んだ避難計画の作成 ・地域のコミュニティ力の向上（区・班の連絡網の作成、地区単位での行事の開催等） ・地域コミュニティ再生に必要な施設（公民館等）の整備 ・高齢者が多い地域ばかりであるため、日頃から声掛けなどのコミュニケーションをとっておく ・災害情報の提供及び入手手段の再構築 ・今回の災害を忘れない（記録を残す） ・各自の災害への備え ・ボランティアの事前登録制度を整備し普段から交流や訓練を行う（社協機能強化・人員確保） ・空き家把握及び管理（危険建物解消、犯罪防止等） ○その他 ・心のケア（発災当時のことを思い出し不安になる等） ・国や県と連携を強化し復興を目指してほしい ・清流川辺川の観光（公園整備等）も考えた河川整備 ・村民一人一人の防災意識の向上（避難、備蓄品等） ・災害時の役場職員の対応
(2)	災害に強い相良村とするために必要なことはどのようなことだと思いますか。（防災・減災のための基盤整備、地域防災力の向上、避難所の運営等） ○防災・減災のための基盤整備 ・川幅の狭い箇所を拡幅する ・堤防（道路）のかさ上げ等の整備 ・川辺川及び球磨川の河床・中州の掘削を早急に行う ・川辺川と球磨川の合流地点の河川整備

	・遊水地の検討 ・地区内の溝の土砂除去 ・ダム（必要、不必要、河床掘削等を先に進める）
	○避難所及び避難避難路の整備及び運営
	・避難所に向かう道路が浸水し通行できなかった ・指定避難所が遠いため近くの安全な場所（高台）に避難所を整備してほしい ・避難路の確保（国道、村道等） ・地区の公民館に備蓄品を備えてほしい（備蓄倉庫整備） ・地区の公民館は浸水するため避難所として機能を果たさない ・高齢者が多いため、避難をスムーズに行える組織づくり ・1年に1回程度は危険個所の点検、避難路及び避難誘導の確認（村民参加）を行う
	○地域防災力の向上
	・消防団の活動（見回り、声掛け等）の強化 ・発災時早くから消防団に声掛けしてもらった ・自主防災組織の活動強化（防災訓練、避難訓練、災害（水害、台風、地震、土砂崩れ、火災等）の危険性に対応知識を身に着ける等） ・村民が情報共有できるハザードマップの更新及び活用
	○その他
	・村民一人一人の危機管理能力向上 ・川の水位の情報がほしい（カメラ、水位計等の増設） ・安定したネット回線の構築、村内Wi-Fiの充実 ・行政からの災害情報、避難指示等の伝達方法の検証及び強化 ・浸水区域の住民等は安全な高台に移転するよう促す
(3)	地域産業（農林水産業、商工業、観光業等）の再生・発展に必要なことはどのようなことだと思いますか。 ・生産基盤及び生活の糧である農地や農業用施設の復旧を早くしてほしい ・商工業の事業に農地（畑）を利用できたら働く場もできるのでは ・災害から復旧及び復興し元に戻すにも後継者もいないため、村外から移住者を呼び込むことはできないか ・被災した文化財の再生への一部助成 ・若者が働ける場を確保する ・広い高原台地の活用 ・毎年全国から川辺川に鮎釣りを楽しみに来られるため、川辺川のきれいな水を守る必要がある ・清流川辺川を活かした地域産業の展開（企業誘致、観光業（川遊び、キャンプ等）） ・地元住民が相良村を離れないような施策 ・「緑の流域治水」を新たな全国モデルとし、これを機に地域産業の活性化ができるかもしれない ・道の駅など人が集まる場所（拠点施設）を整備してほしい ・川辺川を中心とした事業を（鮎釣り、鮎つかみ取り、棚田活用、地産地消、イベント等）
(4)	(1)(2)(3)以外で、復旧・復興に向けたむらづくりについて、ご意見、ご要望、ご提案等ありましたらご記入ください。 ・村営住宅を建設し若者の定着、移住定住促進につなげる ・被災した家屋の解体を早急に進めてほしい ・村道平原十島の改良 ・空き家の有効活用 ・人吉球磨は道路が一番のネックであること以前から思っていたが、今回の災害で改めて立証されたかと思います。外とのつながりが途絶えることは日常生活が成り立たなくなる。また製造業等の企業誘致も難しくなる。災害に強い道路整備が必要 ・住民が必要な情報はインターネット社会になっても高齢者が多いため、今までのように回覧や資料配布、放送でもお知らせしてほしい。 ・若者の力を借りて、もっと相良村をアピールしてほしい

	・積極的に相良村の現状をアピールし、村民が前向きになるように頑張してほしい ・ボランティアの方たちのおかげで元気になりました ・川辺川に公園整備をしたらどうか ・国県村から手厚い支援をいただきありがたいと思います。 ・大変なことと思いますが、できることからしてほしい ・相良村の再建、復旧・復興を足がかりに、IターンUターン者を受け入れやすい村づくりをしてほしい ・深水地区や柳瀬地区の並木野辺りへの移転も検討する必要がある ・ダムのが気がになります。 ・人吉球磨一体となって治水に取り組んでほしい ・減災を目的に河川整備をしていく方がベターだと思います ・柳瀬の石倉跡地を上手に使って人が集まるものを作ってほしい ・今までのように、より早く対応していただけたらと思います（役場職員へ） ・情報があまり入ってこず、何がどう進んでいるのか・決まっているのかわからない事が多いです。情報収集できる場所やサイトをはっきりと周知してほしい。村内放送の機器が設置されるまでは何も入ってこなかった。
	【自由記載】 心配ごと・お困りごと・支援が必要なこと、未来の相良村への思いなど ・今回の災害で人口減少が心配、対策を（村の存続が心配、地方創生を真剣に考えてほしい） ・財政が厳しい相良村だと思うので、村からのお知らせなどはもっと安価な用紙を使うとか経費削減に努めてほしい ・この先どうすればよいのか不安。高齢で建替える資金もなく途方に暮れるばかり ・川村駅が元の姿に戻るよう心から願っています ・事務手続きの簡素化 ・ボランティアの方たちのおかげで元気になりました人数が少なく期間も短かった。村が災害箇所を把握し派遣してほしい ・災害ごみの搬入期間が短かった。 ・仮設住宅が少なすぎ ・空き家が多くなり草木も茂り放置されている。防犯上も心配 ・若い人が働けるような仕事の場を増やしてほしい（少しでも若者が相良村に残るように） ・心配ごとを言い出したらきりがありませんが、時間をかけ少しずつ前へ進み元の生活を取り戻していきたい ・心のケアをしてほしい。私も中学生時代に水害を経験し、それから雨が降るたび不安になる ・手つかずの自然、川辺川を活かした観光産業を生み出す知恵をみんなで考えてみてはどうですか ・被災後の床下洗浄等、自力では満足にできませんでした。援助の手がほしかったです。 ・空き家も多く二次被害が発生しないように早めに対策を ・発災時に村からの放送が途中で聞こえなくなった ・工事車両が多く国道445号の交通が増えたので心配 ・相良村から出たくないで早く村営住宅を整備してほしい ・先の昭和の大水害の時は3年ぐらいは災害が続きました。来年また起こるかもしれませんので、早急に河川の整備をお願いしたい。 ・交通の便が悪いので、乗り合いタクシー等の利用を検討（利便性の向上）してほしい ・若者が村に残って生活（仕事、子育て）できる環境整備 ・仮設住宅に入居している方々が被災前の地域に戻ってこれるような防災対策を ・今回の水害を踏まえ熊本県知事が表明した流域治水のため、相良村として川辺川を守りながら、その中心となって取り組んでほしい ・相良村には宅地にできる土地がいっぱいあるような気がします。人吉市や球磨村の人達も移り住んでくれたらいいなあと思います。 ・災害により前年と比べ収入が減っている。子どもの学費の支援などをお願いしたい。 ・村民の小さな意見を聞いてくれる相良村！ ・相良村に住み続けるためにも、安心して住める土地を確保してほしい ・支援の相談を役場にいったが職員の言葉につらい思いをした。 ・今回の災害で周りのいろんな人に助けてもらいとても感謝しています。